

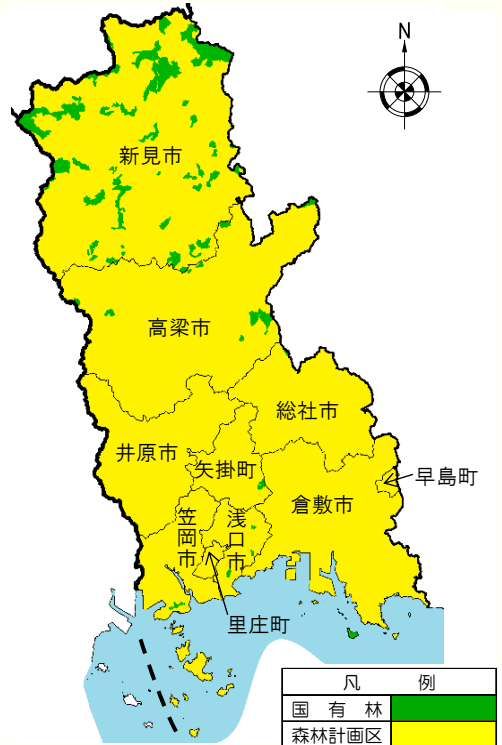
# 地域管理経営計画の概要

## 高梁川下流森林計画区

### 1 森林計画区の概況

国有林野面積は9,613haであり、大部分が新見市に位置しているほか、計画区の中中部から南部にかけて小面積の団地が点在しています。

位置図

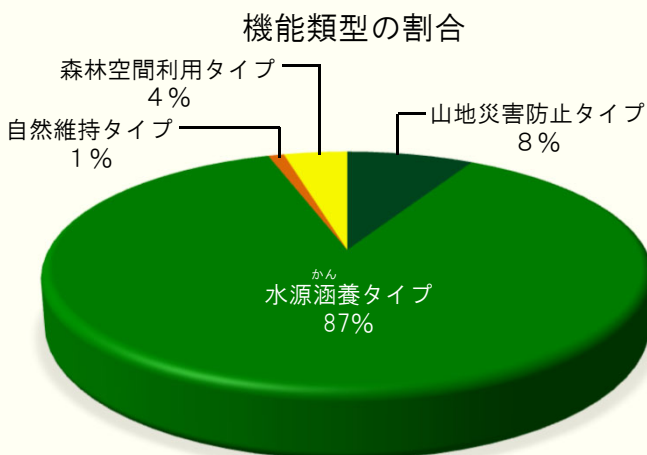


森林計画区内の森林面積に占める国有林野の割合は6%です。これらのうち90%は水源かん養保安林となっており、重要な水源涵養機能の一端を担っています。

国有林野の人工林率は76%と森林資源に恵まれており、民有林とも連携しながら安定的な木材供給に取り組んでいます。

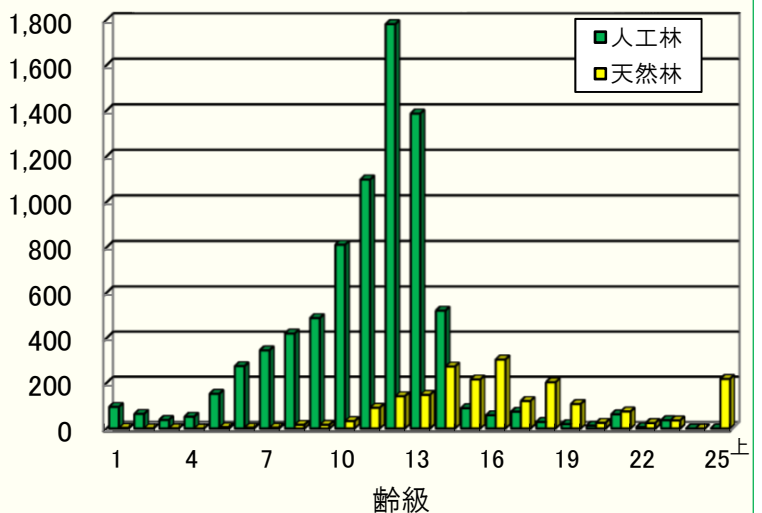
また、新見市には森林技術・支援センターを設置しており、森林施業技術の改良・普及や先進機器を活用した林業技術の開発・検証を進めています。

森林計画区内における森林面積の割合



面積(ha)

齢級別面積



注1 各データは令和2年現在。  
2 四捨五入等により内訳と合計が合わないことがある。  
3 齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

## 2 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

### (1) 主要事業量

森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、1,986ha（21.3万 $\text{m}^3$ ）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、441ha（12.0万 $\text{m}^3$ ）の主伐を実施します。

事業区分		新 計 画	現 計 画
伐採総量	主 伐	441ha（120,257 $\text{m}^3$ ）	550ha（143,672 $\text{m}^3$ ）
	間 伐	1,986ha（213,247 $\text{m}^3$ ）	2,756ha（271,965 $\text{m}^3$ ）
更新総量	人工造林	503.62ha	420.76ha
	天然更新	36.69ha	16.18ha
保育総量	下 刈	1,543.43ha	1,312.18ha
	除 伐	134.14ha	60.24ha
林道事業	開 設	2,710m	4,150m
	改 良	58m	—
治山事業	保全施設	16箇所	4箇所
	保安林の整備	—	5.52ha

注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

### (2) 民有林と連携した施業の推進

民有林と国有林が隣接している区域において「森林共同施業団地」を設定し、民有林所有者と連携して路網の整備、土場の共同利用や民有林材との協調出荷等に取り組みます。

名 称	対 象 地			連携して行う取組み
新見市神郷高瀬地域 森林共同施業団地	民有林	372ha	新見市	路網の整備、 路網、土場の共同利用、 効率的な森林整備、 木材の安定供給
	国有林	968ha	小吹山、三室国有林（新見市）	
新見市大佐田治部地域 森林共同施業団地	民有林	114ha	新見市	
	国有林	93ha	赤滝国有林（新見市）	

【団地内で実施した列状間伐】



民有林（新見市）

【間伐材の搬出】



三室国有林（新見市）



### (3) 治山事業

民有林治山事業と連携し、自然環境の保全にも配慮しながら計画的に実施します。  
本計画区では、平成30年7月豪雨等により被災した箇所において、治山ダムを設置などを重点的に実施します。

【自然環境に配慮して治山ダムに木材を利用】



臥牛山国有林（高梁市）

【荒廃した溪流への治山ダム設置】



加賀山国有林（浅口市）

## 3 林産物の供給に関する事項

### 木材の安定的な取引関係の確立に関する事項

列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進します。  
地域関係者と連携を図るとともに、成熟した人工林が多いことから主伐、再造林を行い安定的な木材の供給に取り組みます。

【スイングヤードを利用した列状間伐】



三室国有林（新見市）

【プロセッサによる造材】



釜谷国有林（新見市）

【フォワーダによる木材搬出】



古谷国有林（新見市）

## 4 その他国有林野の管理経営に関し必要な事項

### 林業技術の開発、指導及び普及に関する事項

林業の低コスト化に向けた造林・保育・生産技術、公益的機能の高度発揮を図るための森林施業技術等の開発を計画的に進めます。

本計画区では、森林技術・支援センターを中心に、森林施業に関する各種試験のほか、林業成長産業化を支援するため、地上レーザーやドローンなどの先進機器を活用した技術開発も行っており、民有林関係者への現地見学会なども行っています。

【地上レーザー測量とドローンによる林分調査】



釜谷国有林（新見市）

【里山広葉樹活用試験地で行った現地見学会】



釜谷国有林（新見市）